



第2にしぼっぼ新聞

電話詐欺と経済的虐待

特集

高齢者のお金、狙われています！



電話詐欺に注意

柏市内での特殊詐欺の平均被害額は今年の8月迄で約一六三万円でした。「うちは引つかからない!」「うちには持つていかれるお金なんかないから大丈夫」とよく聞きますが、実際は「窮地に立たされた息子を救うために出してしまった」、「知らない間に引き出されていた」といった被害が後を絶ちません。



特殊詐欺のほとんどが電話によるものです。詐欺グループは数日前から用意周到に「携帯番号が変わったから登録しておいて」「遺失物センターから電話が入るかも」といった電話をかけてくる場合もあります。被害に遭われた方の中には「かけてきた息子の上司(犯人)はとても親切な人だった」という人もいます。中には夫の「おかしい」という忠告まで振り切って振込みをした人、息子が海外勤務中であるにも関わらずお金を工面して知らない上司(犯人)に渡した人、銀行の窓口の行員から「詐欺じゃないか」と声をかけられたにも関わらず旅行代金と嘘をついて犯人に渡ししてしまった人もいます。電話で耳元で囁かれると親密さが増す心理効果があり、冷静になることができないことが分かっています。

ATM

経済的虐待かも…

また、お金のこんなことで困ってはいませんか？

- 年金があるのに自由に使えない
- 頼んでいないのに年金の通帳を家族が管理している
- 生活費や必要な医療、介護サービスを受けさせてくれない

もしかして経済的虐待とよばれる高齢者虐待のひとつであるかもしれません。多くの方が「身内のことだし…」。虐待なんてことはないわ…。」と考えてしまいがちで、そこに支援の難しさがありません。

こんな時は包括へ相談



詐欺被害や経済的虐待など高齢者に関する相談は柏西口第2地域包括支援センターへご相談ください。

柏市消費生活センターや柏市防災安全課、柏警察生活安全課と連携して対応します。

特に虐待については、市民の皆さん全員に通報義務があります。虐待と言っているのか、確信が持てないことが往々にしてあると思いますが、「虐待である」とご自分で判断する必要はありませんので、「何か心配」と思ったら、まずはご一報ください。

活動再開に向けて

柏西口第2地域包括支援センター

所長 小野田 光芳

地域包括支援センターでは緊急事態宣言下においてイベントや講座などの人が多く集まるような活動を自粛し、また、訪問して皆様のお宅に伺うようなことについてもなるべく控えてまいりました。

予定していたイベントも中止や延期になったものが多くあり、参加を予定されていた方におかれましてはこの場を借りてお詫び申し上げます。

10月より活動を再開しております。こういう時期だからこそ、楽しく参加ができる、何か新しいことに興味をもって挑戦できる場所が必要ではないかと感じています。

地域包括支援センターとしても十分に感染対策をしながら企画をしていきます。再び気兼ねなく外出ができるまで不自由なことも多いと思いますが、工夫しながら乗り切っていきたいと思います。



「認知症地域支援推進員」です！

私たちの地域支援は認知症の方への「個別の関わり」と「集団の関わり」の二つに大別されます。今回は「個別の関わり」についてお伝えします。

ある一人暮らしの高齢女性 A さんは物忘れがひどく、同じことを何度も聞き、ゴミ出しができない為「ごみ屋敷」となっています。早朝深夜、構わずご近所に電話や訪問を繰り返し、とうとう地域住民の B さんは困り果てて包括に相談しました。

相談を受けた C 推進員は「地域の高齢者の支援活動の一環」として何回か A さん宅を訪問し状況を把握しました。

また遠くに住むご家族にも確認し、A さんが自宅で一人暮らしを続けるには認知症の専門医の受診が必要と説得しました。ご家族の理解を得て順調に受診できるよう、病院と連絡を取り合い受診の段取りをお手伝いしました。

ご家族同伴で受診した結果「中程度の認知症」と診断されました。主治医の理解を得て介護保険の申請をし、進行を止める服薬が開始となりました。その後 A さんにはケアマネジャーが付き、ヘルパーやデイサービスを利用し、問題が起きてご家族と関係機関が連携して解決ができるようにしていく環境ができました。

このように、認知症の方が地域で生活できるように工夫する実践を日々重ねています。

(山田)

※この話は事実を基にしたフィクションです。



9月21日は認知症の理解を深めるため全国各地でイベントが実施されました。当センターでもオレンジフレンズ（認知症サポーター養成講座の受講者で認知症の活動に協力してくれるボランティア）、イオン薬局の協力でセンターリーフレットにおいて動画上映とリーフレット配りを行いました。

認知症は残念ながら未だ治る病ではありませんが、地域の温かい見守りや対応があれば穏やかに生活することも可能です。認知症であっても笑顔で生きることができ、街となりまければ幸いです。

9月21日は世界アツルハイマデー
「この街で笑顔で生きる」



フレイル予防講座のご案内



参加費無料！
奮ってご参加ください。



最近、「お茶でむせる」「たくあんが噛みにくい」「口が乾く」ことはありませんか？
それ「オーラルフレイル」かもしれませんよ！

口から始める健康づくり 口腔機能の維持・改善

オーラルフレイル予防講座

1/18 10:00~11:30

場所：新富近隣センター

定員：15名(申し込み順)



フレイルチェックのご案内

フレイルチェックでご自分の健康状態の現状を把握しましょう。
※当センターまでお申し込みください。

日時：11/8(月) 13:00~14:30

場所：旭町近隣センター



認知症地域支援推進員



※緊急事態宣言等の発令時は中止または延期の可能性があります。